



コンテキストの政治

- ・ 人間はどのような影響から政治的意思決定を行うのか？
- ・ 完全に個人的な判断なのか、他人や環境にに影響されているのか、そうだとしたらどのように？
- ・ 人間が置かれる空間的・地理的な「コンテキスト（文脈）」というものに注目してみる

2

コンテキストという概念（1）

- ・ 選挙地理学における近隣効果
 - ・ 有権者がその地域で優勢な政党や政治家を支持するように転向する政治行動として確認される
 - ・ 近隣地域＝個人としての有権者の政治的指向性に影響を与える地理的環境を構成

3

コンテキストという概念（2）

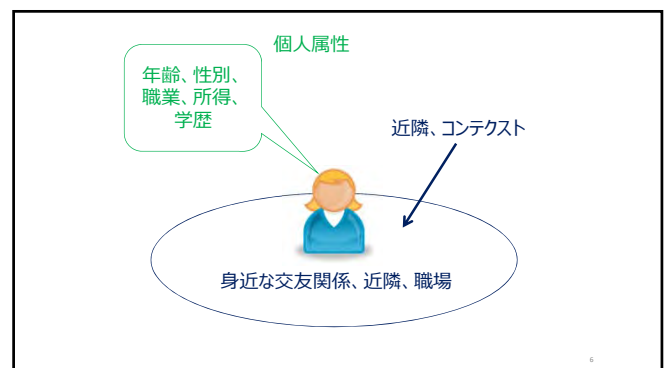
- ・ なぜ近隣効果があるのか
 - ・ 地方での社会的相互作用（対人関係）や情報流動（地域メディア）（コックス 1969）
 - ・ 政党の活動→新居住者を地方固有の政治文化に溶け込ませるべく、活発に働きかける（ジョンストン 1986ほか）
 - ・ 政党・地方政府は地方の政治文化・政治風土＝地方固有のイデオロギー、シンボル、アイデンティティを形成（ジョンストン 1986）

4

コンテキストという概念（3）

- ・ 近隣効果があるとはどういうことか
 - ・ 政治的意思決定が大きく二つの要素から構成されている
 - ・ 一つは個人の社会経済的属性（コンポジション＝年齢、性別、職業、所得、学歴など）
 - ・ 所得が高いと保守的、学歴が高いとリベラル
 - ・ もう一つがコンテキスト＝自分が生活する地理的な文脈（身近な交友関係、近隣、職場）から政治的知識を獲得する
 - ・ 労働者地区では労働者でなくとも左翼政党支持

5



6

転向のメカニズムー地域球団とファン

- ・私が阪神ファンになった理由
 - ・巨人、大鵬、卵焼き（1961年）
 - ・巨人9連覇（1965～73年）、ON（王・長嶋）全盛時代
 - ・関西UHF局で阪神戦完全中継開始
 - ・吉田義男（京都二商＝北野中、山城高出身）阪神監督就任（1975年）、再就任と日本一獲得（1985年）

7

コンテキストを考える意義

- ・人間の行為を日常生活の地理的文脈から考える
- ・アンソニー・ギデンスの構造化理論をはじめとする社会理論の影響
- ・人間の活動＝身近な時空間的文脈の中で生起する社会事象（起きて、働いて、遊んで、食べて、寝て）→地理学的視点の有効性

8

コンテキストをめぐる論争（1）

- ・ *Political Geography* 誌の誌上論争（1987、1996年）
- ・政治地理学者＝コンテキスト効果の意義
- ・政治（社会）学者＝否定的
 - ・計量分析で適切に変数操作すれば効果はほとんど現れない
 - ・地域的なパターンは地域的な生産様式の反映で、個人は其中で合理的判断から投票している
 - ・5%ほどの地域性より一般性を理解するほうがもっと重要

9

コンテキストをめぐる論争（2）

- ・反論の問題点
 - ・コンテキスト効果の意義は変数処理の問題に矮小化されてよい
 - ・政治の行動は経済的な地域差や個人の経済的効用（損得）計算に置き換えられてよい
 - ・政治行動はあくまで個人の属性に左右されるものとしてとらえてよい
- ・どう思いますか？

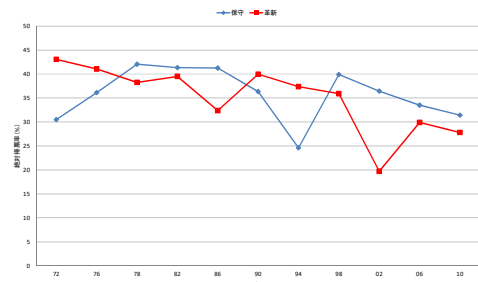
10

沖縄県における投票行動の地域性

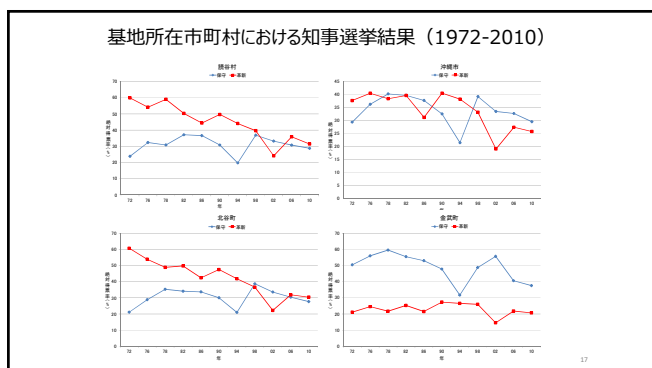
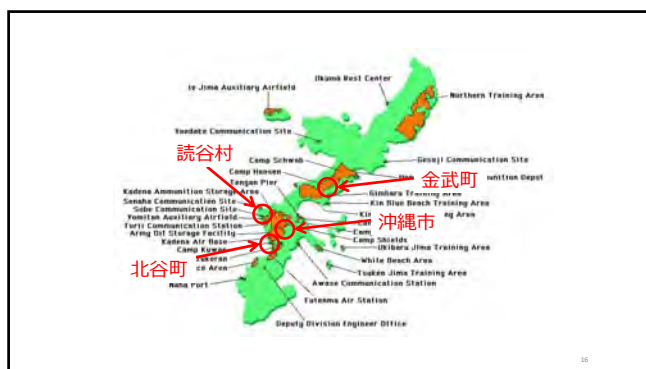
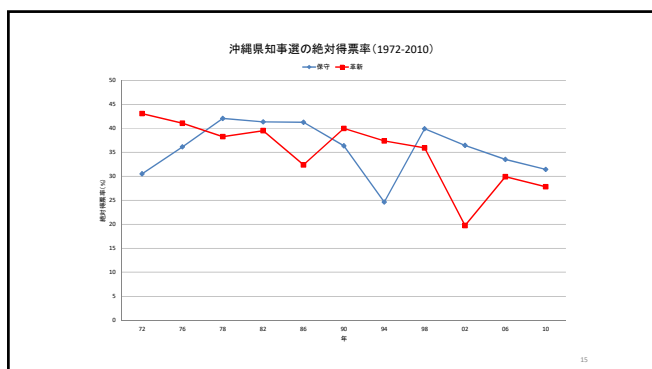
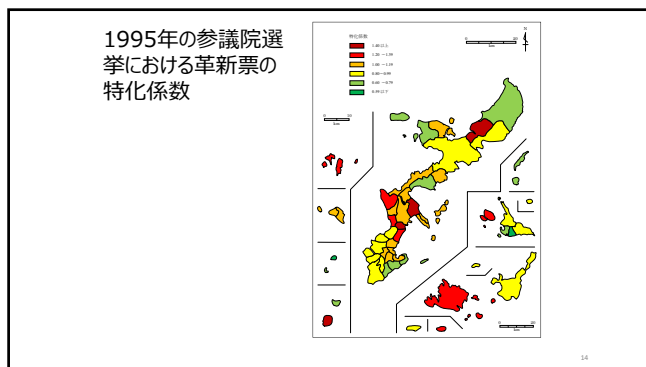
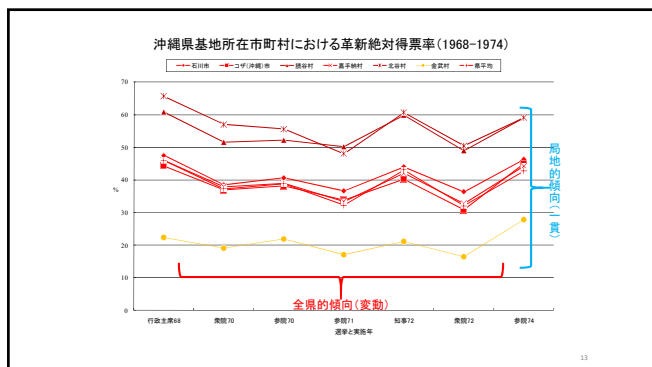
- ・基地の存在
- ・その社会経済的インパクト
 - ・基地被害の程度
 - ・住民の基地経済への依存度
- ・保守・革新の対立（クリーヴィッジ）
 - ・基地反対の意思は革新系候補への投票に現出
 - ・明確な地域差

11

沖縄県知事選の絶対得票率（1972-2010）



12



革新票を伸長させるコンテクスト

- 読谷村の場合
 - 沖縄戦での米軍上陸地点(北谷町も)
 - 集団死(集団自決)の戦跡保存、生存者の存在
 - 反基地運動活発
 - 革新系村長の平和行政
 - 代替産業の可能性(基地跡地利用、地場産業振興)

チビチガマ入口と記念碑



ヘリ基地移設反対運動（1996年）

19



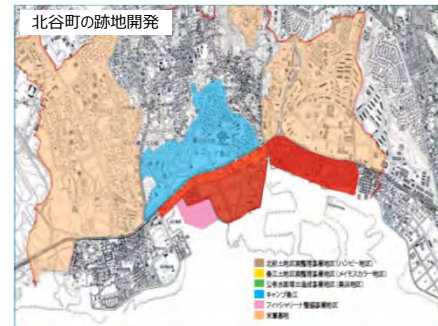
読谷村庁舎
(1997年末使用の基地内に建設)

20



不戦宣言の碑（沖縄戦、米軍基地占拠を記す）

21



北谷町の跡地開発

22



美浜タウンリゾート・アメリカンビレッジ

23

保守票を伸長させるコンテキスト

- ・ 基地経済への依存（復帰以前から）
 - ・ 軍雇用
 - ・ 軍用地料
 - ・ 対基地自営業
- ・ 復帰後の財政依存
 - ・ 基地の存続＝返還の停滞
 - ・ 地域経済の衰退（代替経済の不在）
 - ・ 基地関連交付金・国庫補助金（インフラ整備、経済振興策）への依存

24



25

ゲート通り (1950年代初期)



26



センター通り (1969年)

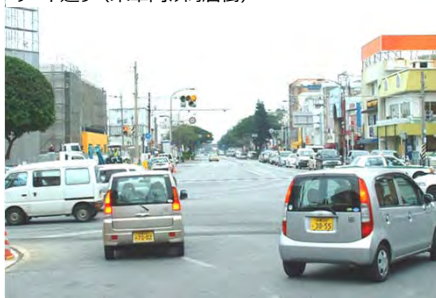
27

嘉手納飛行場第二ゲート (沖縄市)



28

ゲート通り (米軍向け商店街)



29



ゲート通りの米軍向け店舗



30

シャッター通りと化した中央パークアベニュー（もとセンター通り）＝中心市街地の衰退



31



金武町キャンパハンセン前の新開地（米軍向け飲食店）

32

基地所在市町村の経済・政治的特性 (テキスト p. 118 表8-1)

市町村名	米軍基地面積率(11)	基地関係収入率(10)	人口(05)	人口増減(05-10)	民有地宅地率(11)	第三次産業従業者率(10)	経済成長率の年平均(04-09)	復帰後の軍需系首長数(72-07)	首長数/任期数
市町村名	%	%	人	%	%	%	%		
北谷町	52.9	12.2	27,264	1.5	25.3	75.6	4.0	11/11	
読谷村	35.8	12.0	38,200	2.3	18.9	70.2	2.0	11/11	
沖縄市	34.5	6.8	130,249	3.0	38.2	72.2	1.6	6/11	
金武町	59.3	29.0	11,066	4.0	10.2	69.2	1.2	0/11	
基地所在市町村平均	18.1	3.8							
県平均	10.2			2.0	13.0	72.3	1.0		

米軍基地に占拠されている市町村について、基地への財政依存、経済成長率と投票行動との関係に注目！

33

再び「場所の政治」へ

- ・ 政治行動に多様な空間的パターン
- ・ 選挙や政党支持にコンテキスト効果があるとすれば、
- ・ 特性の政党の支持と有権者の社会経済的属性は国土全般にわたって一貫した関係を持っているのではなく、
- ・ 地域的に多様で、地域的に分化した場所や風土の存在を考慮する必要がある。

34